

NPO法人

気象キャスターネットワーク 会報

2012 第5号

# 空色レポート



～特集～

## 局地的大雨

- ・地球温暖化の環境授業  
2012年度 募集情報
- ・気象キャスターによるお天気のお話 など

# 局地的大雨



## ◆どんな場所が危険？

川は急激に増水しますので非常に危険です。大雨の兆しを感じたら、河原や中洲、親水公園など川の近くからすぐに離れましょう。地下街や地下室には雨水が流れ込む恐れがあります。道路や鉄道をくぐるため周囲より低くなっている道路をアンダーパスといいますが、そのような場所は雨水がたまってしまいます。気が付かずに車で侵入すると動けなくなり水没してしまうこともあります。また浸水した道路では、マンホールが開いていて転落する危険もありますので足元に注意しましょう。

局地的大雨から身を守るためには、私たち一人一人が周囲の危険を察知し、避難などの行動を決断することが非常に重要になります。また危険を感じたら、川の近くなど危険な場所で遊んでいる子供達にも気を配り、避難を呼びかけてあげてください。

[水越]

## ◆こんな時は要注意！

局地的な大雨は発生場所や時間を特定して予想することが難しいので、周囲の状況の変化に気をつけることがとても大切です。黒い雲が広がり急に暗くなる、雷の音が聞こえ稲光が見える、冷たい風が吹き出す、などの変化は大雨が近づいている兆しです。川の水が濁ってきたり水かさが増えてきたりしたら、上流で大雨が降っているかもしれません。また屋外でも携帯電話の気象情報で雨雲の様子や警報・注意報などを見ることが出来ますので活用してください。



局地的大雨とは、発達した積乱雲により、狭い範囲に短時間で強い雨が降る現象です。さっきまで晴れていたのに突然激しい雨が降りだし、雷が落ちたり突風が吹き荒れたりすることもあります。夏は局地的大雨の起こりやすい季節です。身を守るための注意点を紹介します。

## ◆キーワードは「大気の状態が不安定」

事前に天気予報で、局地的大雨の降りやすい気象状況かどうかを確認しましょう。天気予報のマークだけでは危険を見逃してしまうことがあります。例えば「晴れ時々くもり所によりにわか雨が雷雨」という天気予報の時に、天気予報のマークは晴れとくもりだけで、雨マークは表示されません。局地的大雨は狭い範囲の現象なため、大まかな気象を表すマークには反映されないことがあるのです。そこで天気予報の中に出てくるキーワードに気をつけましょう。キーワードの一つは「大気の状態が不安定」です。「大気の状態が不安定」とは上空に冷たい空気、下層に暖かく湿った空気があって、上昇気流が起こりやすく入道雲が発達しやすい状態のことです。その他「急な雨、天気の急変に注意」「雷(雷雨)」などのコメントにも気をつけてください。

## ↓2008年7月28日 神戸市都賀川の増水 (10分間で水位が約1m30cmも上昇)



増水直前



増水時

(提供:神戸市)

専門家さんに  
聞いてみよう



埼玉県東部に「首都圏外郭放水路」という洪水被害を軽減するための巨大施設があります。国土交通省関東整備局・江戸川河川事務所のご協力で、施設を見学させていただきながらお話を伺ってきました。

Q. 「首都圏外郭放水路」は、なぜ作られたのですか？

A. 埼玉県東部の中川・綾瀬川の流域は、地盤が低く水がたまりやすい地形になっているため、これまでに幾度となく洪水被害を受けてきました。そこで中小の河川から水があふれ出す前に、地下に水を取り込んで安全に江戸川に放流する施設が作られました。

Q. 地下にこのような巨大な空間が広がっているとは驚きですね。

A. 川の水を地下に取り込む「立坑(たてこう)」は、深さ約70m、内径約30mもあり、スペースシャトルや自由の女神がすっぽり入る大きさです。また水を流すトンネルは全長6.3kmの地下の川です。地下トンネルを流れてきた水は、「調圧水槽」で水の勢いを弱め、巨大ポンプで江戸川に排水されます。1秒間に25mプール一杯分の水を排水することが可能です。

Q. 洪水の被害を減らす効果は出ているのですか？

A. 外郭放水路ができる前の2000年7月、台風3号の大雨に見舞われた際には、周辺地域で160mmの雨量を記録し、浸水面積137ha、浸水家屋248戸におよぶ大きな被害を受けました。しかし、外郭放水路が完成した後の2006年12月の低気圧による洪水では172mmの雨量を記録しましたが、浸水面積は約33ha、浸水家屋は85戸と被害を大幅に軽減しました。

Q. 一般の方も施設を見学することができるそうですね。

A. 「地下神殿」と呼ばれる巨大な調圧水槽を見学いただいています。一般見学会の参加には事前予約が必要です。電話、ホームページからお申込みください。

●電話受付：TEL 048-747-0281

受付時間：月～金曜日

(AM9:00～PM4:30)

●ホームページ

<http://www.ktr.mlit.go.jp/edogawa/index.html>



立坑への流水の様子  
(提供：国土交通省江戸川河川事務所)



↑ 首都圏外郭放水路の全体図 (提供:国土交通省江戸川河川事務所)

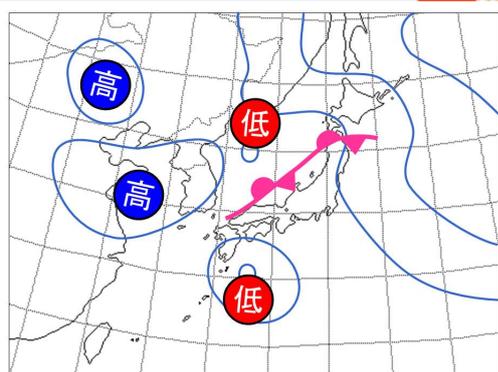


当見学会の様子(調圧水槽)

天気図から見よう



2008年8月28日



日本列島に停滞する前線に向かって非常に湿った空気が流れ込んで大気の状態が不安定になったため、東海、関東、中国、東北地方などで記録的な大雨になりました。大雨は31日にかけて続き「平成20年8月末豪雨」と名付けられました。首都圏外郭放水路の周辺も大雨となり、過去最大の流入量を記録しました。その量は約1,172万m<sup>3</sup>、25mプール約25,000杯分で、日本全国にある小学校のプールを集めた量とほぼ同じになります。この時、周辺地域で床上浸水した戸数は69戸でしたが、仮に外郭放水路がなかったと想定してシミュレーションすると床上浸水家屋は約630戸にのぼったと考えられ、被害を大幅に軽減できたことが分かります。

[水越]

# キャスターレポート

ふちおか ゆみ  
**刈岡 友美 さん**  
元 NHK 気象キャスター  
チリ在住 気象予報士



## 南米チリ通信 ～地球の果てより～

な田園地帯、世界有数の多雨地帯、氷河のある亜寒帯、イースター島のある亜熱帯など、あらゆる気候が凝縮しています。

中には、森林ゆたかな湖水地帯もあり、富士山ソックリの山が！

首都サンティアゴは地中海性気候のため、夏は暑く、カラカラに乾燥します。天気予報は連日晴れ。洗濯物はパリッと速乾。その分、紫外線は強烈で、日ざしが突き刺さるように痛い！屋外ではサングラスが必須です。チリ国内では、南極のオゾンホールの影響が及んでいる所もあり、人々はたっぴりと日焼け止めクリームを塗ります。ちなみに冬の方が湿度が高いサンティアゴ。フンボルト海流の影響で気温はそれほど低くならず、あまり雪は降りません。

最近では、天候不順の影響も。観光地としても知られるチリ北部のアタカマ砂漠は、ほとんど雨が降らず、世界で最も乾燥した地域です。ところが昨年末、村が流されるほどの大

雨が降ったのです。雨に慣れていないこともあり、洪水や浸水の大きな被害がでました。ラニーニャ現象が一因と考えられていますが、こうした天候の異変はチリのほかの地域でも叫ばれています。

沢山の表情を持つチリ。少しでも身近に感じてもらうと、この4月からNHK「ラジオ深夜便」の海外リポーターを務めています。月に一度、東京のスタジオとつないで、天気をはじめ、食べ物、観光スポット、行事など、さまざまなチリ情報をお伝えします。耳だけが頼りの電話レポート、そして「自宅の食卓が放送現場」という違和感にはまだ慣れず。でも、微々たる力であっても、遠く離れた日本とチリを結ぶ役割を果たせたいと考えています。



ピジャリカ火山

南半球・チリ。地球の反対側での生活も半年が過ぎました。スペイン語を勉強したり、チリ人に混じってダンスを習ったりと、充実した日々を送っています。私の住む首都サンティアゴは、600万人の大都市。食べ物も豊富で、想像していた以上に暮らしやすい所です。この時期、街路樹は紅葉し、窓から見えるアンデス山脈はすっかり雪化粧。間もなく冬がやってきます。

ところで、チリってどんな国かご存知ですか？「チリ」とは、原住民の言葉で「地球の果て」を意味します。なんだか寂しい所？いえいえ、実は変化に富んだ豊かな気候に恵まれているんですよ。その理由が、細長い国土です。南北の距離は日本以上で、約4300km！このため、一つの国の中に、乾燥した砂漠地帯、温暖

# 食レポート

## 梅雨にちなんだ…



長雨の時期、梅雨にちなんだ「食」を取り上げたいと思います。梅雨(ばいう)は中国から来た言葉で、長江流域で梅の実が熟するころに降る雨から名前がついたと言われていいます。梅といえば、関西では和歌山県が梅の収穫量の日本一を誇っており、中でも みなべ町や田辺市は

梅栽培の盛んな地域です。元々は紀州田辺藩が耕地に恵まれないこの地域で梅の栽培を奨励したことが始まりとされています。梅の品種では、「南高梅(なんこううめ)」が全国的に有名で、果皮が薄く、大粒で肉厚なのが特徴です。我が家では毎年、南高梅の青梅を使って、梅酒ではなくノンアルコールの梅ジュースを作っています。冷たいお水やソーダ水で割っていただくと、お風呂上りに最高ですよ！梅肉エキスはクエン酸が豊富なため、夏の疲れをとってくれる上に、殺菌作用もあって食あたりしやすい頃にピッタリです。

また、関西では夏から数えて11日目ごろの半夏生(はんげしょう)の日(今年は7月1日)に、稲がタコの足

のように根付いて豊作になるようにとの願いからタコを食べる習慣がありますが、タコと梅干しの煮物もお勧めです。タコは煮ると固くなりがちですが、梅干しや大根と一緒に煮ることで驚くほど柔らかくなるんです。梅干しの酸っぱさが食欲増進に一役買っているようで、つつい食べ過ぎてしまいがちですが…。梅パワーで、これから真夏にかけての疲れが出やすい時期を乗り切ってくださいませ！



吉村 真希さん  
(大阪府・正会員)

質問レポート



土砂災害警戒情報  
ってなんだろう？

これから日本列島は雨の季節。大雨による災害も6～9月にかけて多く発生します。その中に含まれるのが土砂災害。去年だけでも全国で1422件発生しました。その土砂災害による被害を少しでも減らすために発表されるのが土砂災害警戒情報。大雨などによって、がけ崩れや土石流など土砂災害の危険性が高まった場合に地元気象台と都道府県が共同で市町村ごとに発表します。しかし、それでも土砂災害による犠牲者はゼロにならず去年は死者・行方不明者85

名にのぼりました。

では、土砂災害警戒情報が発表されたら私たちはどのような点に注意し行動すればよいのでしょうか？

崖の近くなど土砂災害の発生しやすい地区にお住まいの方は特に市町村からの情報、テレビ、ラジオ、インターネットなどの情報、最新の気象情報に注意をして、いつでも避難できるよう準備することが大切です。また、土砂災害警戒情報が発表されていなくても斜面の状況には常に注意を払い、普段と異なる状況に気づいた場合には周りの人と安全な場所に避難するとともに市町村役場などに連絡するようにしてください。それとともに日頃から危険箇所や避難場所、避難経路を確認しておくことも重要です。また万一、土砂災害が発生した場合は雨の降り方、状況など



(2010年7月 岐阜県八百津町)

をメモしておくようにしましょう。災害を減らす第一歩は過去の災害、起きてしまった災害を忘れず、その災害を教訓とすること。自然災害が多い我が国に住む私たちにとっては大切なことかと思えます。

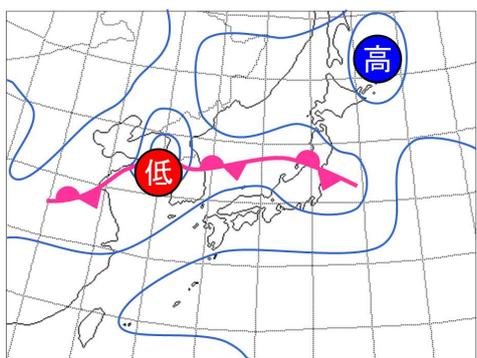
※昨年土砂災害件数 1422 件、去年死者・行方不明者 85 名、共に国土交通省のホームページより

寺尾 直樹さん  
(愛知県・正会員)



過去天気レポート

梅雨末期  
大雨と猛暑が隣り合わせ



2004年(平成16年)7月13日、新潟県から福島県にかけて非常に激しい雨が降り、信濃川水系の河川11か所で堤防が決壊。濁流が市街地や農地に押し寄せ、大きな被害が出ました。いわゆる「平成16年7月新潟・福島豪雨」です。

この日は新潟県から東南北部にかかる梅雨前線の活動が非常に活発になり、総雨量が300ミリから400ミリに達する記録的な大雨となりました。一方で前線の南側にあたる関東や近畿などでは、この日梅雨明けが発表されています。

2004年は夏の訪れが早く、大雨となった新潟県内でも、8日前の7月5日には長岡市で38.3度の猛暑を記録。7月11日には九州で梅雨明けし、その他の各地でも梅雨明け間近の状況でした。世間の関心は、大雨情報よりも梅雨明けや暑さ、熱中症などに集まる中で、7月13日、新潟・福島で記録的な大雨となりました。

梅雨末期は夏休み直前で、真夏の青空を期待し暑さが気になる時期。皆さんの関心やマスメディアの注目は、どうしても梅雨明けや暑さ、熱中症に集まりがちです。でも梅雨末期は「大雨と猛暑は隣り合わせ」。猛暑のニュースの傍に大雨のおそれがあることを常に頭に入れ、天気予報をこまめにチェックするようにして下さい。

[田代]

フォトレポート



樹齢 推定 150 年のモミジの木。毎年、気持ちのよい木陰をつくってくれます。トロの森近辺の民家にて。

川崎 亜有子さん  
(東京都・正会員)



ドイツの初夏の味覚、白アスパラガス。「レッカー、レッカー(うまいよ!)」と軽快な声が響きます。

杉山 範子さん  
(ドイツ在住・正会員)





シャープ環境教育

検索



今年度も、シャープ株式会社と協働で行っている地球温暖化をテーマとした小学校環境教育授業を実施しています。昨年度から、私たち気象キャスターが行う授業では、気象・

温暖化だけではなく防災を踏まえた自然災害の話も盛り込んでいます。気象や自然災害に対する正しい知識を身につけ、自ら身を守る方法を考えるきっかけになってもらえるように、写真や映像をたくさん使用して、わかりやすく話しています。

今回は、東日本大震災で被害が大きかった地域である、岩手県や宮城県、福島県の小学校での授業の様子をご紹介します。楽しい授業を通じて、元気になってもらいたいという願いで、授業のご案内をお送りした結果、10校以上の小学校で授業を行うことができました。生徒の皆さんは、手を挙げて元気に参加してくれました。被災地の小学校では、授業の様子や集合写真をまとめてポスターを作成し、学校へプレゼントしました。生徒の皆さんや先生方からも、集合写真をとる機会が減っていたのでとてもうれしい、と喜んでいただくことができました。ポスターの御礼に、生徒の皆さんからお手紙をいただくこともありました。授業の感想などもたくさん描いてくれていて、お手紙をもらった講師はとても感動していました。

今年度の授業も、全国の小学校からのご応募お待ちしております！

授業の内容

- 「地球温暖化」といっしょに、
- 1 「リサイクル」
  - 2 「新エネルギー（太陽光発電）」
  - 3 「生態系保護」



3つのテーマからお選びいただけます。

- 実施対象：全国の小学校(4年生～6年生)
- 講師料・交通費のご負担はございません。
- お申込み方法：HPまたはFAXにてお申込み下さい。

2012年度分 大好評受付中！

実施校：年間500校

※募集枠を上回った場合は、ご希望にそえない場合がございます。

募集期間：7～9月実施分 → 締切済

※7～9月分は実施可能日程もございますので、ご希望の場合は、お問合せをお願い致します。

10～12月実施分 → 締切 8月15日

1～3月実施分 → 締切 11月15日

☆ホームページ！またはダイレクトメールにて、ご確認ください。

[http://www.sharp.co.jp/corporate/eco/kyoiku/eco\\_lesson.html](http://www.sharp.co.jp/corporate/eco/kyoiku/eco_lesson.html)

募集案内や、授業の様子もこちら↑のHPでチェック！

学校向けメールマガジン

「気象・環境ニュース」配信中！！

身近な気象・環境についてのニュース、学校出前授業の募集案内を月1回お届けします。授業にも使えるトピックス満載です！

- ◆最近発生した極端な気象現象について
- ◆気象キャスター注目の環境ニュース
- ◆この1か月のお天気解説

HPから専用メーリングリストに登録するだけ！！  
学校関係者の皆さま、ぜひお申し込みください！



メルマガのお申込みは↓

気象キャスター

検索

私たちキャスターが全国の学校を訪問します！

いしぐれ あきこ  
石樽 亜紀子さん  
【中国・四国地区】



現在、番組の中で小学生、中学生向けの気象のコーナーを担当しています。日々、どう説明し、どういった演出をすればわかりやすく伝えられるか、考案しています。真剣な目でメモを取り、純粋に学ぶ小学生の皆さんに、地球温暖化に興味を持ってもらえる授業をたくさん経験したいです。

てらかわ なつみ  
寺川 奈津美さん  
【関東地区】



子どもたちの素朴な疑問が、私にとっての一番の勉強です。「これは今度子どもたちに教えてあげよう！」と思いながら日々天気図と向き合っています。これから天気ネタをどんどん増やして、子どもたちに喜んでもらえる出前授業を目指します。

おおくぼ ともこ  
大久保 智子さん  
【北海道地区】



最初は緊張気味の生徒さん。自分の住む町で大雨が降ったり、真冬日が少なくなったと分かると驚きの表情に。最後はすっかり打ちとけてすぐにできる節電の話で盛り上がります。これからも温暖化を身近なものに感じられるような授業を心がけていきたいと思います。

2月25日

## 2012年 定期総会

気象キャスターネットワークの定期総会を開催しました。本年も全国各地で活躍している気象キャスターや気象予報士の皆さんが集まりました。

総会後には特別講演として、東京大学大気海洋研究所より木本昌秀さま、気象庁より上野健志郎さま、前田修平さまをお迎えして、気象や環境についてご講演を頂きました。会員の皆さんは、とても熱心に聴講していました。

その後は、懇親会です。今年も活躍した会員の方々の表彰を行いました。



た。昨年は、当会の会員より4名の方（関口奈美さん、藤田友香さん、蓬萊大介さん、本庄美奈子さん）が気象キャスターとしてデビューしました！ので、新人賞として表彰させて頂きました。中には当会のキャスター講座を受講していた方も！会員の方が、さらに講座の受講生が気象キャス

ーとしてデビューしていくことは、うれしい限りです。

また1年後の総会や懇親会で報告・表彰していけますように。今年も活動の幅を広げながら、様々なイベントや講座を行っていきたいと思います。

[吉川]

3月24日

## お天気キャスターと学ぶ “水のふしぎ、水のちから” in 名古屋市科学館



名古屋市科学館で親子向けイベント「お天気キャスターと学ぶ“水のふしぎ、水のちから”」が開催されました。講師の山田修作さん、植木奈緒子さんをはじめ、東海地区のメンバーが一同に集まり、お天気や防災のお話をクイズや実験を交えながら進めていきました。雲を作る実験では多くの子どもたちに体験してもらい、実験が成功すると客席から歓声が上がっていました。また、三重県に大きな被害をもたらせた昨年の台風12号の様子を紹介したときには、多くの親子が真剣に見入っていました。講座では台風や竜巻、集中豪雨など様々な自然災害を紹介するだけでなく、被害



にあわない方法や気をつけなければいけないことを話しました。WCNの活動の様々な場面で話している、自然災害から身を守る大切な心掛け「3つのK(考える、気付く、行動する)」を、名古屋の参加者の皆さんにも知ってもらえたと思います。

[渡部]

6月2日・3日

## エコライフフェア2012 in 代々木公園

エコライフフェアに今年もブースを出展しました。今回のテーマは「夏の天気注目！エコで安全な夏休み」クイズラリーで答えのヒントを探しながら、ブースを見学してもらいました。いろいろな実験やパネルを用意しましたが、特に人気だったのは、紫外線で色が変わるビーズを使った工作です。2日間とも、お天気に恵まれたおかげで、日かげでは真っ白の紫外線ビーズの色は、日差しにあたる

た。紫外線や熱中症など正しい知識を知ってもらって、安全な楽しい夏を過ごして欲しいですね。その他にも、夏をエコで涼しく過ごす方法を書いてもらったり、自転車発電や手回し発電を使いながら電気の大切さを話したり、夏の天気についての説明もしました。雷や雨の音を鳴らす楽器や手回し発電を使って作るシャボン玉には、小さなお子さん興味をもって参加してくれました。参加してくれた皆さんに、エコをしながら楽しく過ごす夏を考えるきっかけになってもらえたら、うれしい限りです。

[吉川]



# 熱中症予防情報

ページを開設しました！

この度、暑さ指数(WBGT)を表示するページを開設しました。WBGTは、気温だけでなく湿度などを加味した体感温度を表現する指数で、熱中症の危険度がわかります。

パソコン向けページでは好きな地点を検索表示することが可能、またスマートフォン向けページではGPS機能で現在地の暑さ指数を手軽に表示できる形となっています。

情報は毎日更新されます。学校現場など、この夏の熱中症対策にぜひご利用ください。

詳しくは当会HPへ！

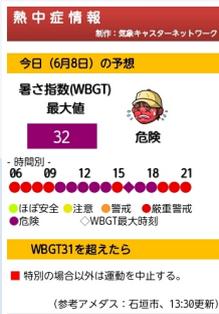
またはスマホ・携帯で今すぐアクセス→

[http://www.weathercaster.jp/heat\\_stroke/](http://www.weathercaster.jp/heat_stroke/)



↑パソコン版ページ

↓スマホ版ページ



**電巻発生装置**  
当会HPにて販売中



TVの気象解説でも大活躍！

電巻の構造をわかりやすくお勉強できます！  
↓詳しくはHPへ↓

WCN 電巻

## ★イベント 予告！★

●7月28日(土)  
宮城県にてお天気教室(予定)  
宮城県気仙沼市にて、お天気ミニ教室を開催します！

●8月4日(土)・5日(日)  
福島県にてお天気教室(予定)  
4日に新地町、5日に相馬市にて、ミニ講座や実験コーナーなど、楽しいブースを用意します！

その他、キャスター育成講座やキャスター個別指導などなど、今後もたくさんのイベントや講座を予定しています！！

※詳しい内容・予定は、決まり次第  
当会HPにて、お知らせします★

## 最近の羽生



緑と黄色にはっきりと分かれ、まるで線で引いたようです。除草剤をまいたところは植物が枯れて黄色になっているのです。多くの収量をあげるために日本の農業ではごく

普通のことですが、有益かそうでないかは人間の視点であり、自然界に必要なものなどないと思います。今年もレンゲを用いた無農薬の稲作に子供たちと共に挑戦しています。

[岩谷]

## 編集後記

これから夏に向けて、イベントシーズンに入ります。事務局も毎週末がイベント予定でうまってきました。毎週楽しみですね～☆ さて、会報も創刊から1年が経ちました！全国の皆さんが見てくれているとうれしいです！！

## 気象キャスター

ネットワークとは…

### ◆私たちの目的◆

私たち気象キャスター・気象予報士は、環境破壊や気象災害から人命・財産を守るため、多くの人々と一体となって環境問題の解決と気象災害の軽減に関する啓発・教育活動を実施します。

### ◆私たちの環境教育活動◆

気象学・環境学の知識とコミュニケーション能力を兼ね備えた気象キャスターを、『理想的な『地球環境教育のメッセンジャー』』と位置づけ、これからの地球を支える子供達への教育を通して社会に貢献しています。

### ◆気象・防災知識の普及活動◆

- ・講演会やイベントへの講師派遣
- ・自然体験講座の開催
- ・気象予報士の育成
- 気象キャスター向け講座の実施

### ◆HPはこちら◆

気象キャスター

検索

## 推薦図書レポート

『北海道のお天気ごよみ 365日』

[北海道新聞社]



菅井貴子 著  
(北海道・正会員)



「外国だと思って行きなさい」  
気象キャスターとして、北海道の赴任が決まったとき、先輩からのアドバイスです。さらに、北海道は日本一、予報も難しい！？独特かつ魅力もたっぴりな、北海道の気候や季節感を、一日ずつ綴りました。

編集・発行

NPO法人

気象キャスターネットワーク

〒110-0002

東京都台東区上野桜木 1-14-21

高遠レジデンス上野桜木 202 号室

TEL : 03-5832-9401

FAX : 03-5832-9402

発行日：2012年7月1日(第5号)

表紙写真：武田康男さん